

# 算数科学習指導案

授業日 令和4年11月25日

学習者 6年1組 35名

授業者 浪内 委子

## 1. 単元名「順序よく整理して調べよう」

## 2. 単元の目標

順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように、起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの使い方を理解することができるとともに、事象の特徴に着目し、筋道立てて考えを進めていこうとする態度や、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

## 3. 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように調べるには、ある観点に着目したり、図や表などにかき表したりするとよいことを理解している。	事象の特徴に着目し、順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように図や表を適切に用いたり、名称を記号化して端的に表したりして、順序よく筋道立てて考えている。	順序や組み合わせについて、図や表などを用いて工夫しながら、落ちや重なりがないように調べた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

## 4. 単元計画と学習評価（全6時間）

時	学習内容	主・対・深	学習評価（知・思・主）〈方法〉
1	・単元の見通しをもち、順列について調べる方法を考え、表や樹形図を用いて調べる。	 興味や関心を高める  知識・技能を習得する	・身近な問題から、順列について落ちや重なりがないように記号化した図や表を用いて、工夫して順序よく調べようとしている。（思）〈発言・ノート〉
2	・順列について、落ちや重なりがないように調べる方法について理解を深める。	 粘り強く取り組む  協働して課題解決する	・順列について、落ちや重なりがないように順序よく整理して調べることができる。（知）〈発言・交流・ノート〉
3	・組み合わせについて、落ちや重なりがないように調べる方法を考える。	 粘り強く取り組む  知識・技能を習得する	・組み合わせについて、落ちや重なりがないように調べるには、図や表などを用いるとよいことを理解している。（知）〈発言・ノート〉 ・事象の特徴に着目し、組み合わせについて図や表を用いて、順序よく筋道立てて考え調べている。（思）〈発言・ノート〉
4 (本時)	・組み合わせについて、落ちや重なりがないように調べ、組み合わせを調べるときに大事なことを考える。	 協働して課題解決する	・組み合わせの場面について、自力で問題解決したり、友達と話し合ったりすることで、問題場面の組み合わせについて考えている。（思）〈発言・ノート・交流〉
5	・レストランでできるセットメニューの組み合わせについて考えることで、事象を数理的にとらえ、問題を解決する。	 知識・技能を活用する  自分と結び付ける	・学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。（思）〈発言・ノート〉 ・学習内容を生活に生かそうとしている。（主）〈発言・交流〉
6	・学習内容の定着を確認する。	 振り返って次へつなげる	・基本的な問題を解決することができる。（知）〈発言・ノート〉

5. 単元の学習のめあて

並べ方の調べ方を知り、それぞれに合った方法で、落ちや重なりがないように、いろいろな場面を調べられるようになる。

6. 本時でめざす子どもの姿

○組み合わせの場面について、自力で問題解決したり、友達と話し合ったりすることで、問題場面の組み合わせについて考えている。(思)〈発言・ノート・交流〉

7. 「対話的な学び」への手立て



- 一人一人が自分の考えをもつ場の設定。
  - ・自分の考えをノートに書き表す。
  - ・考えをもてない児童への手立てとして、表のワークシートを用意する。

8. 本時の学習展開 (4 / 6)

	児童の学習活動	評価□・留意点※
導入 5分	<p>○前時までの振り返りをする。</p> <p>○問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦アイスクリーム屋さんに行くと、バニラ、チョコ、ストロベリー、オレンジの4種類の味がありました。ちがう3種類を買って食べます。選び方は、全部で何通りですか。</p> </div>	<p>※表・樹形図・対戦表などの既習事項を掲示。</p>
展開 25分	<p>○課題を考え、書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦組み合わせについて落ちや重なりがないように調べよう。</p> </div> <p>○課題解決の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表・樹形図・対戦表・対角線など今まで使った方法</li> <li>・アイスは簡単に表記(記号化)</li> </ul> <p>○自分の選んだ方法から取り組む。(個人)</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○どのように解決したか交流し、互いの考えを知る。(グループ) <span style="float: right;">【対話的な学び①】</span></p> </div> <p>○問題の答えと解決方法を確認する。(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスを選ぶ組み合わせは、4通り。調べ方は・・・。</li> </ul> <p>○それぞれの方法のよさについて話し合う。(ペア) <span style="float: right;">【対話的な学び②】</span></p>	<p>※いつも気を付けることを確認。</p> <p>※考えをもてない児童への手立てとして、表のワークシートを用意</p> <p>□組み合わせの場面について、自力で問題解決したり、友達と話し合ったりすることで、問題場面の組み合わせについて考えている。(思)〈発言・ノート・交流〉</p> <p>※全体のものとなるように方法を伝える工夫</p> <p>※ペアで交流してから、全体で交流。</p>
終末 15分	<p>○まとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>㊦それぞれの方法のよさを生かして、落ちや重なりがないように調べるとよい。</p> </div> <p>○適用問題に取り組む。</p> <p>「5種類のお菓子のうちからちがう種類を4つ選ぶのは？」 答え 5通り</p> <p>○本時までの振り返りをし、次時への見通しをもつ。</p>	